

## 別紙

### 令和元年度事業報告

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

令和元年度の我が国の社会経済状況は、雇用及び所得環境の改善が続くなかで、新型コロナウイルスによる国内外の情勢の不確実性や株式市場の変動により極めて厳しい状況に向かいつつあります。

高齢者の雇用状況については、少子高齢化が進む中で高齢者の雇用と労働政策として「高齢者雇用安定法」の改正に伴い、多くの企業が定年延長、継続雇用の実施により企業内雇用が図られるようになりました。

しかしながら、雇用環境は企業が業務の合理化や省力化を進めているため予断を許されぬ雇用形態が進行しています。

このような状況においても、当シルバー人材センターは高齢者のニーズに応じた多様な就労機会を提供しております。

当シルバー人材センターは従来型の請負事業だけでなく、労働者派遣事業（シルバー派遣事業）について積極的に対応し、受注の確保・拡大や会員の勧誘等に取り組みました。特に、労働者派遣事業の契約金額は81,827千円となり県内でも上位に位置しました。

主な事業の実施結果は、昨年度と比べて、3月末の会員数は380人（男性262人、女性118人）となり15名の減、契約金額は165,416千円となり、前年度比16,824千円で9.2%の減、就業実人員は304人で21人、6.5%の減となりました。また、受注件数は2,290件で190件7.6%の減となりました。

事故件数については、他のシルバーに比べ少ない件数ではありますが依然として発生しており安全な適正就業についての取り組みに課題を残すところとなりました。

令和元年度も白岡市をはじめとする関係行政機関、企業、事業所や個人の皆様からの大きな支えをいただくとともに、会員の皆様の御尽力により、当シルバー人材センター事業の推進と地域社会への貢献が図られたものと認識しております。

以下、令和元年度の具体的な事業内容についてご報告いたします。

## 1 安全就業と適正就業の徹底

安全就業は事業運営に基本であり、作業の安全と無事故を目指しましたが、賠償事故4件、傷害事故2件、熱中症事案1件が発生しました。

- (1) 安全管理委員会を2回開催し、安全管理委員会委員及び職員による就業現場への安全就業巡回パトロールを12月に32か所実施し、安全防具の使用及び機具の点検などを確認・指導しました。
- (2) 令和元年度の契約は、適正就業を徹底するため、契約書内容の点検を実施し、法令を遵守した適正就業を強化し、安心して就業できる環境づくりを推進しました。
- (3) 職域班等の講習会などで、安全・適正就業への取組みの強化を図りました。
- (4) 「事務局だより」などで、安全就業の呼びかけを行うと共に、交通安全講習会を開催し、交通安全意識の啓発に努めました。

## 2 会員の増強及び就業機会の拡充

- (1) 会員及び役職員により「白岡まつり」、「わんぱく商店街」、「農業祭」のイベントに積極的に参加し、チラシ、リーフレットなどを市民に配布して会員募集と就業依頼を呼びかけました。
- (2) 市の広報紙にセンターの活動記事を掲載するとともに、市内全家庭に配布される回覧による周知を図りました。
- (3) 入会説明会を毎月2回開催し、センターの趣旨についての理解を広め会員の勧誘に努めました。
- (4) 未就業会員については、「事務局だより」への就業案内の掲載、個別に電話による就業の案内など就業機会の提供に努めました。

## 3 独自事業の拡充

- (1) 刃物研ぎを実施し65件、110丁の実績となり昨年の62件、136丁を下回る結果となりました。
- (2) おさらい教室については、新しく開講した中学生数学教室と共に積極的な宣伝活動を行い90名の児童・生徒を指導し、昨年の84名を上回る結果となりました。
- (3) 「大人の英会話教室」については、9名の方が受講して日常生活で役立つ英語を楽しく学べるような講座としました。

#### 4 組織活動の推進

##### (1) 理事会

理事会を12回開催し、定時総会に付議する重要議案の審議のほか、令和元年度事業の実施状況及び予算の執行状況、入会承認、規程の改正など事業の円滑な運営に努めました。

##### (2) 部会活動

###### ア 総務財政部会

収支予算及び決算の審査並びに事業の企画等、理事会に付議すべき案件の審議を実施しました。

###### イ 広報調査部会

各種イベント等での広報活動の実施や市広報紙への啓発文の掲載などを実施しました。

###### ウ 事業部会

安全就業について検討を行うとともに、就業機会の拡大について協議しました。

(3) 地域友好と会員の親睦と交流を兼ねて「こもれびの森祭り」、「農業祭」、「福祉ふれあい広場」と合同で「シルバーまつり」を開催しました。

(4) 不定期に発行する「事務局だより」の内容を充実し、地域班を通じて配付し連絡体制の強化と会員相互のコミュニケーションを図り、センター事業の円滑な運営に努めました。

#### 5 研修・講習事業等の実施

(1) 除草の講習会では実際に刈払機を用いて実施し、安全に関する意識の向上を目指しました。

(2) 接遇研修は、屋外就業が主な会員と屋内作業が主な会員に分けて2回実施し、状況に合わせた接遇を学びました。

(3) 家事援助コーディネーター養成研修に参加し、新たな事業に取り組めるよう知識・技術等の習得に努めました。

(4) 令和元年6月3日に新しい事務所に移転し、執務環境を改善することができました。

(5) 会員への連絡手段として、就業グループの一部でLINEの試行を開始しました。